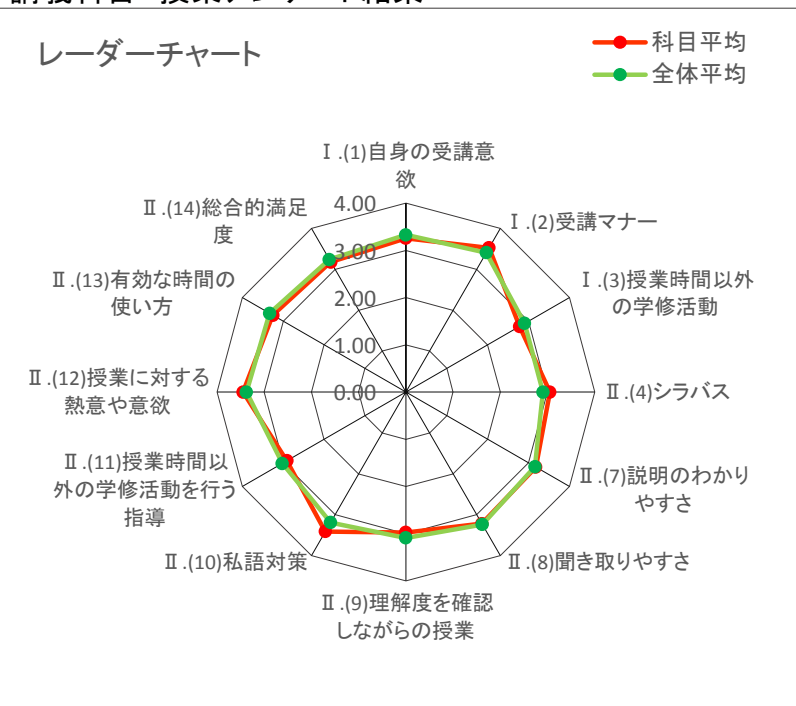
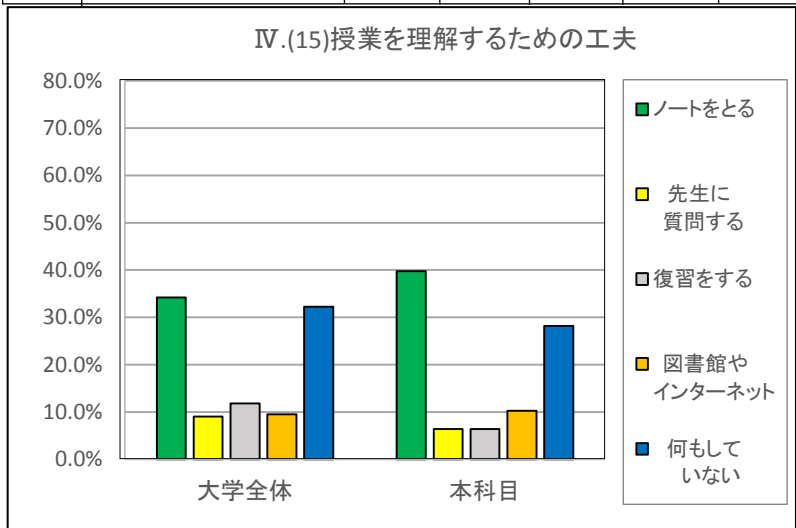


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	39.7%	6.4%	6.4%	10.3%	28.2%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 後期
時間割番号	23207
科目名	精神看護学概論
教員名	

①授業計画の達成度について

物体の無い精神のとらえ方と、それをどのように育てていけばよいのか、過去・現在・未来の視点から学習できた。その結果、独自の考えを成熟させ看護に繋げることができた。また、精神が病むとはどういう事かを一般的な視点と医療者としての視点で学修でき、次年度学習への動機づけができた。

しかし、一部には事象を主観的にとらえ感情で処理しようとする受講者があり、質的に授業の目標に到達できない点もあり、目的の達成に課題として残った。

②授業の進め方について

授業の内容が五感で感じとらえられるよう授業を工夫した。受講者自身が自己の「精神の健康」について客観的に見つめながら学習できるよう、芸術療法の体験やDVDの鑑賞などを授業に導入した。また、学外研修では本学のセミナーハウスの見学と講和の聴講による「文学をとらえて日本人のこころを知る」体験をした。毎授業ごとに授業評価と質問を受け次回の授業に回答するという方法を継続的に実施した。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

授業内容については方法の検討を行いながら、継続して実施していく。また、授業に集中できない受講生に対する注意喚起の工夫が必要で、個々人に対応できるよう方策を考慮する。さらに、今年度は前授業の学修確認、例えばミニテストなどや自宅学習の課題を出すことをあえて行わなかった。今後、これらを何らかのかたちとして計画し、学習への士気が高まるよう検討していく。

	設問No	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.26	3.33
	I.(2)	3.53	3.41
	I.(3)	2.78	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.05	2.90
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.18	3.16
	II.(8)	3.22	3.24
	II.(9)	2.97	3.09
	II.(10)	3.41	3.19
	II.(11)	2.91	3.03
	II.(12)	3.45	3.38
	II.(13)	3.26	3.33
満足度	II.(14)	3.18	3.24

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.19	3.21
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.18	3.17
II.(4)~(13)		
総合的満足度 III.(14)	3.18	3.24